

消防本部の新庁舎が完成しました



消防本部の新庁舎が完成し、先月25日から運用を開始しました。

旧庁舎は築37年が経過し、耐震性の不足や老朽化などの問題があったため、市は昨年7月から新庁舎の建設工事を進めていました。

☎消防本部総務課 ☎0848・64・5910



庁舎の主な特徴

新たな消防・防災の拠点である新庁舎には、次のような特徴があります。

① 大規模災害に強い

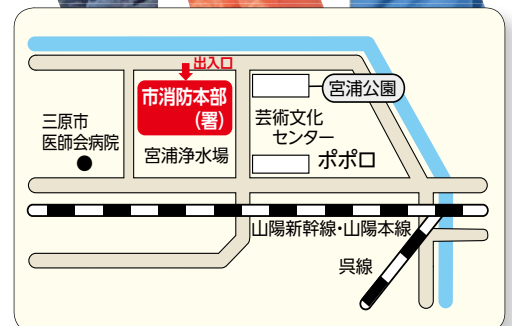
大規模災害が発生したときに継続して業務が行えるよう、自家発電設備や震度7程度の地震にも対応できる高い耐震性を備えています。

② 市民が親しみやすい

消防や救急に関する講習会や研修会などを開くことができる講堂や、社会科学見学や職場体験学習などの際に、間近で見学できる訓練施設を整備しました。

③ 人と環境に優しい

車いすも利用できるエレベーターや多目的トイレを設置するなど、誰もが安心して庁舎を利用できるようにバリアフリー構造を取り入れています。また、隣接する宮浦浄水場の排水を再利用して訓練に使用したり、LED照明を採用したりするなど環境にも配慮しています。





施設の一部を紹介します



【施設概要】

所在地 宮浦二丁目22番2号

敷地面積 8294.51㎡

訓練スペース面積 4486.60㎡

総事業費 18億2千万円

●庁舎

延べ床面積 2787.53㎡

構造 鉄筋コンクリート造3

●1 講堂

心肺蘇生法やAEDの使用方

法などの講習会で使用します。

また、災害時には、災害対策

本部のサブ機能を担います。

●2 訓練塔

一般住宅、マンション、岸

壁、マンホール、地下水路な

ど、さまざまな場所での救助活

動を想定した訓練を行います。

階建て

●訓練塔(西塔)

延べ床面積 265.89㎡

構造 鉄筋コンクリート造4

階建て

●訓練塔(東塔)

延べ床面積 190.10㎡

構造 鉄骨造4階建て

●3 消防団本部

地域の消防・防災の担い手

ある消防団の本部です。消防

団員が集まり、情報の集約や

会議を行います。

●4 潜水訓練用プール

水難救助を想定した水深5

メートルの潜水プールです。現

場に近い環境で訓練すること

ができます。

普通救命講習

とき 随時

内容 心肺蘇生法や止血法な
どの講習

受講料 500円(テキスト代など)

申し込み先 消防課(☎0848・
64・5928)



消防署からのお知らせ

消防団員を募集しています

地域の住民で組織する消防団は、火災や災害が発生した際に自宅や職場から現場へ駆け付け、地域での経験を生かした消火・救助活動を行なっています。

団員は非常勤の公務員に位置付けられ、会社員や自営業者、主婦など、さまざまな立場の人が活動しています。

地域のため、消防団で活動してみませんか。

募集期間 随時

主な業務内容 火災予防、消火活動、救急・救助活動、地震・風水害への対応 など

対象 市内に居住する18歳以上45歳未満で、心身ともに健康な人

申し込み先 警防課(☎0848・64・5924)

【火災の場合】

消防署	通報者
火事ですか、救急ですか	火事です
場所はどこですか	〇〇町〇丁目〇番〇号です
何が燃えていますか	〇〇が燃えています
逃げ遅れた人はいますか	います・いません

【救急の場合】

消防署	通報者
火事ですか、救急ですか	救急です
場所はどこですか	〇〇町〇丁目〇番〇号です
どうされましたか	(誰が、どうしたのかを伝えてください)
その人は何歳ですか	〇〇歳です
意識・呼吸はありますか	あります・ありません
何か病気はありますか	(病名を伝えてください)
かかりつけの病院はどこですか	〇〇病院です

119番の通報は落ち着いて

119番に電話すると、尾道市三原市消防指令センターにつながります。出動に必要な情報について職員が質問しますので、落ち着いて答えてください。

